

# 学校訪問 12

## 吹屋のキラリを見つけよう

### 吹屋小学校

「こんにちはは〜」しつかりとしたあいさつの声が聞こえます。吹屋小学校（成羽町吹屋・西井秀明校長）は、全校児童7人の小規模校です。歴史のある学校に誇りを持ち、地域を愛する心を育てる活動を行っています。昨年度は、「なぜ吹屋小学校には観光客が多いのだろう」「観光客の人は吹屋のどんなところが好きなんだろう」と吹屋のこころをもっと知ろうという取り組みを行いました。



笹畝坑道。長さが320mもあることを知ってびっくり

調べたことを吹屋の人にも教えてあげようと目標を持って学習。「歴史講座」では、成羽公

民館吹屋分館の小川博館長を招き、話を聞いたり、笹畝坑道やベンガラ館などを訪ねました。目で見て体験することによって、吹屋にはすてきな所、キラリと光る所がたくさんあるから、多くの人が訪ねてくることを学習しました。

「美しい町並みが、吹屋に住む人たちの努力によって守られていることも知り、自分たちもこの吹屋を大切にしていきたいという思いを持ったようです」と指導した石川いづみ教諭。

11月29日の学習発表会で、学習の成果を披露。「吹屋の町並みや歴史について、パソコンを使って発表をしました。吹屋のことがよく分かりました」と5



自信を持って、大きな声で発表しました

年生の佐藤香織さん。写真やクイズをたくさん取り入れ、保護者や地域の人たちの前でしっかりと発表することができました。そのほか、地域の皆さんとの交流も盛んです。6月のふれあい参観日では、長寿クラブ、保護者との3世代交流グラウンド・ゴルフ大会で汗を流します。4年生の金藤野佳さんは、「地域の人にクラブの持ち方を教えてもらいました」とうれしそうに話します。秋には、日ごろお世話になった人を招き、「もみじ集会」を開催。ゲームをしたり、子どもたちが自分で作ったプレゼントや感謝の手紙を渡します。地域とふれ合い、吹屋小学校の子どもたちは、この町がもつともっと好きになっていきます。



ふれあい参観日。みんなで記念撮影

## 高梁自然公園に遊具を新設しました

市は、高梁自然公園の古くなった木製遊具等を撤去し、新しい遊具を設置しました。3〜6歳向け、6〜12歳向けの遊具が円形につながった複合遊具と、ターザンロープです。ぜひ、ご家族でご利用ください。

■問い合わせ 農林課 農業振興係（☎0225）



写真前列中央が会長の平木宗夫さん(70)

## 後世へ伝承

## 平川渡り拍子保存会(備中町)

備中町平川の鋤崎八幡神社では、毎年11月3日に秋祭りが行われ、渡り拍子が奉納されます。

渡り拍子は、音頭取りで総指揮の宰領を先頭に、宰弊・幟・先祓い・獅子・鉦・太鼓と続き、跳び子と呼ばれる少年4人一組（大頭ともいいう）が付き、のどかなリズムで勇壮華麗に飛び跳ねるものです。

鋤崎八幡神社に4地区（北・下郷・岩谷・天王）の渡り拍子が一堂に集って氏神様に奉納されるさまは圧巻で、毎年多くの見物人が訪れています。

約600年続いているこの伝統芸能を後世まで伝えようと、平成元年に同保存会が発足。子ども教室を開くなどして子どもたちを指導し、伝統芸能の継承



昨年の様子①

例年の秋祭りのほか、今年11月21日(日)の有漢町広峰神社の200年祭にも招かれており、「例年以上に練習に励みたい」と皆さん張り切っています。



昨年の様子②

に努めてきましたが、このたびその功績が認められ、県文化財保護協会賞を受賞しました。

「身の引き締まる思い。少子高齢化で苦勞することも多いが、この賞に恥じないよう今後も後世に伝統芸能を継承していきたい」と、同保存会会長の平木さん。